

実施報告書

1. 確認事項等

施設名	AIAI NURSERY 西荻窪											
活動期間	令和	6	年	4	月	から	令和	7	年	3	月	

2. 活動報告（注1）

番号	1																								
テーマ	栽培																								
実施回数・期間 (注2)	合計6回(内訳:6月3回、1月3回) (2024年6月~2025年2月末)																								
対象クラス・ 対象人数	<table><tr><td colspan="2">0歳児クラス</td><td colspan="2">1歳児クラス</td><td colspan="2">2歳児クラス</td><td colspan="2">3歳児クラス</td><td colspan="2">4歳児クラス</td><td colspan="2">5歳児クラス</td></tr><tr><td>〆</td><td>人</td><td>〆</td><td>人</td><td>〆</td><td>人</td><td>18</td><td>人</td><td>12</td><td>人</td><td>15</td><td>人</td></tr></table>	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス		〆	人	〆	人	〆	人	18	人	12	人	15	人
0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス															
〆	人	〆	人	〆	人	18	人	12	人	15	人														
活動内容 (注3)	・種を植え、花が咲き、実がなる過程において、野菜に興味をもつ。 ・命の大切さや植物の生長を知る。 ・当番が毎日水をあげ、観察をする。種まきをする上で気を付けなければいけないこと、育て方を子どもたちと確認する。 ・育てた野菜などを使って野菜スタンプの制作を行う。 ・観察での気づきや感じたことを絵日記に書く。 ・収穫した野菜は全クラスの子どもたちと保護者が見れるよう、玄関前に飾る。																								
活動における チェックリスト	✓ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ・栽培場所を園庭に設置することで、全クラス生長の様子を見ることが出来るようにした。 ・グループに分かれ水やりを行ったり、生長状況の感想を共有したりする時間を設けた。 ✓ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか ・スケッチブックにてその日の様子を書いたり、タブレットで写真や動画の撮影を行ったりした。 ✓ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・絵本や写真を通して植物の生長について触れ、興味を持てるように促した。また、責任感を持って活動に取り組めるよう当番活動を取り入れた。 ✓ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 ・昼礼会議の際、子どもの様子やタブレットで撮影した写真を共有しながら参加者全員で振り返りを行った。振り返りの中で子どもの興味や意欲に注目し次の活動に活かせるようなアイデアを出し合った。 ✓ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 ・保護者に対しては、園だよりやドキュメンテーションにて探究活動の様子を周知した。また、合同会議にて情報共有の場を設けた。 ✓ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 ・子どもの興味に合わせて環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。																								

2. 活動報告（注1）

番号	2											
テーマ	絵本											
実施回数・期間 (注2)	令和6年6月～											
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス	
	ℳ	人	ℳ	人	ℳ	人	18	人	12	人	15	人
活動内容 (注3)	・午睡前に目をつぶりながら絵本の読み聞かせを聞き、物語の世界を楽しむ。 - また、絵を見ないことで想像力を豊かにする。 ・絵本を通していろいろな文化を知る。 ・知識教育プログラム(Childドリル)を使用しながら文字や数に親しみ興味を持つ。											
活動における チェックリスト	☒ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。											
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか ・合同保育の際、英語レッスンで習った歌やダンスを踊る機会を設け異年齢児とも一緒に楽しんだ。											
	☒ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。											
	※記録をどのように行ったか ・スケッチブックにてその日の様子を書いたり、タブレットで写真や動画の撮影を行ったりした。											
	☒ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。											
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・園内で郵便ごっこを行い文字や数に親しみが持てるよう促した。 ・文字や数字に興味を示したことをきっかけにドリルを行ったり平仮名表を掲示したり意欲的に取り組めるよう促していった。											
	☒ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。											
	※振り返りの実施方法 昼礼会議の際、子どもの様子やタブレットで撮影した写真を共有しながら参加者全員で振り返りを行った。振り返りの中で子どもの興味や意欲に注目し次の活動に活かせるようなアイデアを出し合った。											
	☒ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。											
	※教諭や保護者等への共有方法 ・保護者に対しては、園だよりやドキュメンテーションにてレッスンの様子を周知した。また、合同会議にて情報共有の場を設けた。											
	☒ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。											
	※継続的な実施のための工夫 ・子どもたちの興味に合わせた絵本を用意する。 ・食育を通して他国の食の文化に触れられるように工夫した。											

2. 活動報告（注1）

番号	3										
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

テーマ	お手紙交換												
実施回数・期間 (注2)	2024年7月～2025年3月												
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス		
	♂	人	♂	人	♂	人	18	人	12	人	15	人	
活動内容 (注3)	・敬老の日の製作をきっかけにあいうえお表を見ながら、おじいちゃんおばあちゃんに向けて手紙を書く。 ・感謝の気持ちを持ち伝えようとする。 ・知識教育プログラム(Childドリル)を使用しながら文字や数に親しみ興味を持つ。												
活動における チェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。											
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか グループに分かれ活動を行い、子ども同士のかかわりが増えるよう対話を促す援助を行った。												
	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。											
	※記録をどのように行ったか ・子どもたちの言葉、会話等に着目し写真・メモ等で記録を残した。												
	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。											
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・室内にあいうえお表を掲示することで表を見ながら制作に取り組めるよう環境を整えた。また、あそびびの場面でも文字や数に親しみ興味を持つことができるよう郵便物などを用意した。												
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。											
	※振り返りの実施方法 ・保育者同士で振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかについて理解を深めた。												
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。											
	※教諭や保護者等への共有方法 ・保護者に対しては、スケッチブックや連絡帳をもって探究活動の様子を周知した。												
✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。												
※継続的な実施のための工夫 ・様々な素材を生かした制作が行える環境を整えた。また、環境にドリルを取り入れて、普段の生活から文字や数に親しみ興味を持てるようにした。													

2. 活動報告（注1）

番号	4											
テーマ	国旗											
実施回数・期間 (注2)	令和6年4月～令和7年3月											
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス	
	✓	人	✓	人	✓	人	18	人	12	人	15	人
活動内容 (注3)	・『はじめての国旗絵本』『世界一周空の旅』と言う絵本から、他国の挨拶に触れる。 ・『世界の国旗カルタ』の遊びから国旗に触れることや、飛行機で海外に旅行に行く遊び等で他国の文化に触れる。 ・秋祭りのテーマに沿って、子どもたちと各国の有名なお飯について、絵本や図鑑で調べていき、ごっこ遊びに他国の文化を取り入れる。											
活動における チェックリスト	☒ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。											
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか ・少人数ずつグループに分かれ活動を行い、他グループとの関わり合いが増えるように保育者が仲介、援助に入った。											
	☒ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。											
	※記録をどのように行ったか ・活動中の子どもの写真を撮り、スケッチブックで活動の様子を記録した。											
	☒ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。											
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・子どもたちの関心がある分野の絵本や図鑑を環境に設置したり、自由あそびの際に国旗作りの制作コーナーや塗り絵を用意した。											
	☒ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。											
	※振り返りの実施方法 ・他クラスの活動や子どもの様子を保育者間同士で振り返りをして共有した。											
	☒ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。											
	※教諭や保護者等への共有方法 ・保護者に対しては、スケッチブックや連絡帳を通して探究活動の様子を周知した。											
	☒ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。											
	※継続的な実施のための工夫 ・活動の中で、子どもの探求心の対象が移り変わっていく様子を観察し、興味があることに関する素材を提供していった。											

番号	5											
テーマ	英語活動											
実施回数・期間 (注2)	週1回 令和6年4月～令和7年3月											
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス	
	ℳ	人	ℳ	人	ℳ	人	18	人	12	人	15	人
活動内容 (注3)	・知識教育プログラム(kokororinnga)の動画を見て発音をする。 ・知識教育プログラム(kokororinnga)の動画を観ながら英語の歌を歌う。 ・ゲーム形式で英単語を覚える。 ・アルファベットを覚えるために、プリントに取り組む。 ・英語を使って表現することを楽しむ。英語のブロックを使って遊ぶ。 ・友だちや保育者と簡単な英語でコミュニケーションを取る。											
活動における チェックリスト	☒ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。											
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか ・グループに分かれて活動を行い、子どもたちが自分の考えや表現を共有しながら活動を行うことにより、保育者や友だちとの関わりを促した。											
	☒ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。											
	※記録をどのように行ったか 活動の様子を写真や動画に撮った。 スケッチブックに活動内容を記入した。											
	☒ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。											
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・アルファベットに関する玩具や教材を設置し、子どもが英語に興味を持つことができる環境づくりを行った。											
	☒ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。											
	※振り返りの実施方法 ・午睡の時間を活用し、写真や動画を見返しながら英語指導の職員と一緒に振り返りを行った。 ・どのような活動をすることで子どもたちは興味を持って意欲的に取り組む事ができるのか、集中して取り組める環境づくりについて理解を深めた。											
	☒ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。											
	※教諭や保護者等への共有方法 ・保護者に対しては、スケッチブックに英語活動の内容を写真と共に記入し、掲示した。 ・保育者に対しては昼礼で活動の様子や内容を伝えた。											
☒ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。												
※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。また、発表会で披露する機会を設けた。												

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 西荻窪
-----	------------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜の栽培（3・4・5歳児）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

- ・ 戸外あそびの際、動植物に興味をもち帰園後部屋にある図鑑で調べる姿が見られた。
- ・ 園庭があることから全クラスが生長を見守る事が出る園庭で栽培を行った。
- ・ 毎月行っている食育活動の中で野菜に触れた事をきっかけに、季節の野菜を図鑑で調べ、栽培し、野菜への興味関心を深める事とした。

2. 活動スケジュール

2024年5月～

- ・ 野菜を図鑑で調べ、育てたい野菜を話し合い、クラスで野菜を栽培する。栽培しながら観察し、気づきを友だちと共有する。

2024年8月

- ・ 収穫した野菜を使い野菜スタンプを楽しむ。

2024年11月～

- ・ 夏野菜を育てたことで植物の生長に興味を示し、11月から葉物野菜や根菜の栽培を始める。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・ 当番表の作成
- ・ 苗や種の購入
- ・ 絵本、図鑑の購入

4. 探究活動の実践

< 活動の内容 >

・種を植え、花が咲き、実がなる過程において、野菜に興味をもつ。

育てた野菜などを使って野菜スタンプを行い制作に繋げていく。

・野菜を図鑑で調べ、夏野菜と春野菜を分類し、保育室内に掲示することで旬の野菜について知る。

・サークルタイムで育てたい野菜を話し合い、クラスで野菜を栽培する。お当番を中心に野菜を育てる。

・収穫した野菜を観察したり、絵にかいたり、その説明を書いたりすることで食に関心を寄せる。

・観察での気づきや感じたことをサークルタイムで共有する。

・育てた野菜などを使って野菜スタンプを行い制作に繋げていく。

< 活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり >

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・当番活動の一つである水やりに関心をもち積極的に取り組む姿が見られた。

・園庭で栽培を行っていたことで栽培を担当していたクラスだけでなく他クラスの子どもも興味を持ち観察をしたり成長を楽しんだりする姿が見られた。

・サークルタイムで生長について話し合う機会を設けたことで気づいたことを言葉で友だちとや保育者に共有することができるようになった。

・制作活動で野菜スタンプを取り入れたことで、様々な野菜に興味を持ち給食に知っている食材が出ると保育者や友だちに共有するようになった。



5. 振り返り

< 振り返りによって得た先生の気づき >

・栽培をきっかけに当番活動を始めてことで、毎日当番表を確認し当番が来る日を楽しみする子の姿が多く見られた。また、役割を責任をもって果たそうとする姿も見られるようになった。

・栽培を通して異年齢児との関わりも見られ、制作活動や食育にもつなげることができたのでよかった。

・サークルタイムで生長について話し合ったことで発見や気づきをクラス全体で共有することができた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名

AIAI NURSERY 西荻窪

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・子どもの興味を察し、合わせた絵本を用意している。
- ・行事やあそびの導入として絵本を用いることが多く、絵本に親しむ機会を多く設けている。

2. 活動スケジュール

令和6年6月～

- ・午睡前に目をつぶり保育者が読む絵本の読み聞かせを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・Chaildドリル代×人数

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 午睡前に目をつぶりながら絵本の読み聞かせを聞き、物語の世界を楽しむ。また、絵を見ないことで想像力を豊かにする。
- ・ 絵本を通していろいろな文化を知る。
- ・ 知識教育プログラム(Chaildドリル)を使用しながら文字や数に親しみ興味を持つ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
- ・ 絵本に出てくる動物や人になりきってあそぶ姿が多く見られ、ごっこあそびや見立てあそびを楽しんでいた。
 - ・ 読み聞かせ後、感想を聞く機会を設けたことで様々な意見や気づきを共有したり子ども同士、子どもと保育者同士がコミュニケーションをとったりすることが増えた。
 - ・ 文字や数に興味を持ち、真似をしながら書く姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 午睡前に目を閉じ、読み聞かせを行ってきたことで、想像力を豊かにしながら絵本の世界を楽しんでいた。また、静かな環境の中自然に午睡に入ることができた。
- ・ 今年はパリオリンピックが開催されたこともあり、国旗や世界の国に関する絵本を購入した。絵本を通して文化や食べ物に興味を示す姿が見られた為、食育や行事に取り入れ様々な活動に発展することができた。
- ・ 絵本に触れる機会を多く設けたことで文字や数字に興味持ち、ひらがな表を用いて文字を書く練習をしたり手紙を書いたりする姿が見られた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名

AIAI NURSERY 西荻窪

1. 活動のテーマ

<テーマ>

お手紙交換

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・敬老の日の制作では、日頃の感謝を伝えたいという子どもの思いから、手紙を書くために、あいうえお表を見ながらかいている姿が見られたため。
- ・自園で行っている幼児教育プログラムの中だけでなく、日頃の活動でも、文字や数に親しみ興味を持っていたため。

2. 活動スケジュール

2024年8月～

- ・子どもたちに敬老の日について話をしたところ、感謝の気持ちを手紙で伝えたいと子どもたちから要望があり、あいうえお表を見ながら手紙を書く。

2024年10月～

- ・文字や数字に興味を持ち、身近な人に手紙を書きたいという気持ちが強くなり郵便ごっこを始める。

2025年1月～

- ・クラスを超えた手紙交換が始まる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・Childドリル代×人数

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・敬老の日の制作であいうえお表を見ながら、おじいちゃんおばあちゃんに向けて手紙を書く。
- ・感謝の気持ちを持ち伝える。
- ・知識教育プログラム(Chaildドリル)を使用しながら文字や数に親しみ興味を持つ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・感謝の手紙を書く際、日頃使用している教材を持ってきたり、必要な物を保育者に頼む姿が見られた。
- ・子どもたちが室内に掲示しているあいうえお表の前に行き、じっくりと表を見つめたり、自分の名前の文字を探したりする様子が見られた。また、わからない文字があると友だち同士で教え合う姿も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・活動の中で、子どもたちが幼児教育プログラムで使用している教材を活用する様子が見られ、子どもの興味関心を自然に知識教育に繋げることが出来た。
- ・手紙を書く際、子どもたちが教材を準備したり、分からないことを積極的に保育者や友だちに聞いたりする姿が見られ意欲的に文字に親しんでいた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 西荻窪
-----	------------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語活動

<テーマの設定理由>

- ・世界の言葉について興味を示す姿があった為。

2. 活動スケジュール

2024年4月～

- ・毎週水曜日、外国人講師による英語レッスン。

2024年10月～

- ・英語やローマ字で保護者に手紙を書く。

2024年12月～

- ・発表会にて「HELLOソング」を披露する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・知識教育プログラム(kokororinnga)の動画。
- ・アルファベットのパズルを環境に置く。
- ・アルファベットに関するプリント（塗り絵やアルファベット表）を導入。

4. 探究活動の実践

< 活動の内容 >

- ・知識教育プログラム(kokororinnga)の動画を見て発音をする。
- ・知識教育プログラム(kokororinnga)の動画を観ながら英語の歌を歌う。
- ・ゲーム形式で英単語を覚える。
- ・アルファベットを覚えるために、プリントに取り組む。
- ・英語を使って表現することを楽しむ。英語のブロックを使って遊ぶ。
- ・友だちや保育者と簡単な英語でコミュニケーションを取る。

< 活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり >

- (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
- ・動画を見て発音を真似をしたり、英語の歌を楽しんで歌ったりと英語に興味を持つ姿が見られた。
 - ・手紙にアルファベットで名前を書く姿が見られるようになった。
 - ・保育者と英語でコミュニケーションをとる姿が見られた。



5. 振り返り

< 振り返りによって得た先生の気づき >

- ・歌やダンスを通して英単語を覚えるため、習得が早く楽しんで取り組む姿が見られた。
- ・英語を学んだことで日本以外の国に興味を示し、絵本やカルタを通して国旗について調べたり挨拶に興味を持ったりと異文化への親しみや理解に繋がった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 西荻窪
-----	------------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

国旗

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・他国の食べ物や挨拶について、話す姿や遊びの中に取り入れる姿があったため。
- ・英語の活動で他国の文化に触れる機会があったため。

2. 活動スケジュール

2024年4月～ 英語の映像、歌、世界地図、国旗や世界のお祭りの絵本を読み、言語や文化の違いに気づく。

2024年8月～ 10月下旬にお祭り「秋祭り～世界の文化について触れ体験しよう～」を企画する。お祭りに向けグループごとに準備を進め、当日の運営を子どもたち自身で行う。

2024年11月～ サークルタイムで、行事ごとに日本の伝統行事なのか、他国でも行われる行事なのかを対話しながら、調べたり、比較してみる。また、食育を通して外国の食文化に触れる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・世界一周空の旅
- ・世界の国旗カルタ
- ・はじめての国旗絵本

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・『はじめての国旗絵本』『世界一周空の旅』と言う絵本から、他国の挨拶に触れる。
- ・『世界の国旗カルタ』の遊びから国旗に触れることや、飛行機で海外に旅行に行く遊び等で他国の文化に触れる。
- ・秋祭りのテーマに沿って、絵本や図鑑で子どもたちと各国の有名な食事や観光名所について調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・子どもたちが図鑑や絵本を見て国旗やその国の食文化などに興味を持ち、たくさんの国々について調べていく様子が見られた。
- ・他国の食文化について調べて、ごっこ遊びに取り入れたことから、その後行われた秋祭りで「ピザ屋さんをやりたい」「国旗を飾りたい」などの意見がうまれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・国旗づくりでは、国旗の絵本を見ながら何枚も国旗を描いたり制作したりする姿が見られた。また、他児とデザインや色の違いについて話す姿も見られ、世界の様々な国に対する興味が高まっていった。
- ・秋祭りでは、各グループで絵本や図鑑などで調べ、どんな素材で何を作るかを話し合って決めるなど、積極的な姿勢が見られた。
- ・秋祭り当日は、各ブースで大きな声を出してお客さんを呼び込み、役割を果たそうと意欲的な姿が見られた。
- ・テーマや狙いに沿った活動を意識したことで、活動に一貫性を持つことが出来たり、遊びや日々の子どもの興味関心を、知識教育につなげることが出来た。